

(様式3) 新規評価基準

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等	箇所名	
区分	評価項目	評価区分	得点	備考
必要性	保全対象人家戸数	A 10戸以上 B 5～9戸 C 4戸未満	30 20 10	
	保全対象公共施設数	A 2箇所以上 B 1箇所 C なし	20 10 0	
	保全対象に要援護者施設 又は避難所があるか	A 重要施設又は避難所があり B 一般施設又は避難経路あり C なし	50 40 0	
	小計			
	過去の災害履歴	A 過去10年に1回以上 B 災害履歴地 C なし	50 30 0	
重要性	交通遮断による地域経 済などへの影響	A 大 B 中 C 小	30 20 10	
	防災計画上の位置づけ	A 位置づけあり B 位置づけなし	20 0	
	小計			
	費用対効果(B/C)	A B/C3.0以上 B B/C1.0以上3.0未満 C B/C1.0未満	70 40 10	
効率性	早期発現度	A 5年未満 B 5年～10年未満 C 10年以上	30 20 10	
	小計			
緊急性	斜面の高さ	A 30m以上 B 10m以上30m未満 C 5m以上10m未満	35 25 10	
	斜面平均勾配	A 45° 以上 B 40° 以上45° 未満 C 30° 以上40° 未満	15 10 5	
	地質状況	A 崩積土、火山砕屑物、強風化岩 B 段丘堆積物 C 軟岩・その他	15 10 5	
	植生の状況	A 不良 B 普通 C 良好	15 10 5	
	保全対象の位置	A がげ下にある B がげ上にある	20 10	
	小計			
	計画の熟度	地元の協力	A 用地等の協力が得られる B 用地等の協力が概ね得られる C 協力が現時点では得られていない	60 30 10
地域からの要望		A 地元住民要望強い B 市町村要望あり C 特に要望はない	40 20 10	
小計				
小計				